



田村市立都路中学校

学校だより 第19号

令和7年7月23日(水)
発行責任者: 校長 佐藤 仁
TEL: 0247-75-2009

めざす生徒像: 自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像: 志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

チョイスイズヨアーズ

「チョイスイズヨアーズ」、「決めるのは君だ」という意味です。7月23日発刊の福島民報に掲載されたコラムのタイトルです。

執筆者は大人対象に書いたようですが、読み進めると中学生にも十分あてはまる、あるいは中学生へのエールとも受け取れる内容なので取り上げさせていただきました。

「なんで宿題とかさ、毎日毎日勉強しなければいけないの?」と、もし子どもに聞かれたら皆さんは何と答えますか。もしくは子どもの頃どう思っていましたか。

そんな時、私は「選択肢を増やすためだよ」と答える。将来こんな職業に「なりたい」「なりたくない」は置いてといて、いろいろな勉強をすることで、さまざまな体験をすること、知識をつけることで、将来の選択肢は多くなるのではないかと思っている。もちろん選ぶのはあなた(子ども)次第だけれど。

そんな私は夏休みの宿題は最終日、面倒くさいことは後回しで遊ぶのに夢中だった少年時代。子どもに偉そうに言えるほど勉強ができる方ではなかったが、もっと勉強をやつときや良かったな、とつくづく思う。今でも勉強の日々だ。(中略)

かのシェイクスピアが「人生は選択の連続である」という言葉を残している。私たちはこれまでの人生の中で大なり小なりの選択を、まるでパチンコ玉のように右に左に転がって、無数の選択肢から「最善の」、または「嫌々ながらも」、もしくは「感情にまかせ」、はたまた「欲に負けて」なのか、いろんな要因と理由によって必ず道を選択し今ここにいる。

その今さえも小さな選択が無数に続いている。それは意識的に選んだのか、無意識に選択したのか。どちらにしてもあなたの選んだ道で人生という物語が続いている。(中略)毎日が奇跡の瞬間の連続なのだろ。あなたに出会えたこと、今生きていること、仕事をさせてもらっていること、友人、家族、うれしいこと、辛いこと、悲しいこと。

不安定な状況や悪い状況では視野がせまくなる。思考が停止する。選択肢があるのに辛さや苦しさから逃れるため、あたかも一つの道しかないように心がとられてしまう。その先が行き止まりであろうとも。そんな時は選んだ道があたかも自分が選択したような気がしているが、何かに心が支配されている時は「支配」に選択させられている。でも忘れないでほしい。どんな状況に置かれていても、そこに選択肢が必ずあることを。心が恐怖や苦しさに支配された時、それでも選択肢が必ずあるということを心の片隅に覚えておいてほしい。誰かに相談してもいい。(中略)

人生はトライ＆エラーの繰り返しだ。一番大事なのは失敗してもその非を受け入れ、次の行動に移す姿勢。できればもっと自分らしく生きたい。なるべく後悔のないように生きていきたい。それは誰しもが思う、ある種の願いだ。自分の人生のこの先なんて、どうなるか誰にもわからない。今日も自分が選んだ道を信じ、一生懸命生きてみようじゃないか!

福島民報「民報サロン」(7月23日)から

執筆者が書いているように、大小の違いや重要度に差はあるにせよ人生は選択の連続です。日々の小さな選択が、いざという時の大事な選択の基礎になります。毎日の何気ない選択が5年後、10年後、20年後の人生に大きく関わってくると言ってもいいかもしれません。

幸か不幸か、10年前にしたあの小さな選択(の積み重ね)が今の自分の人生に大きく関わっているとは、なかなか気づかないものです。だからこそ、「易きに流れる(人は自然と楽な道を選びがちである)」ことだけは避けたいと思います。今の何気ない小さな選択が、人生を左右する選択に少なからず影響を与えることになるかもしれません。

今日を含めあと3日で夏休みです。夏休み中は選択をせまられることが多いあると思います。楽な方の選択をしそうになる自分を律し、我慢し、やるべきこと、やらなければならぬことを選択してほしいと思います。その日々の小さな選択(言いかえれば準備)の積み重ねが、人生を左右するような大きくて、大切で、重要な選択をする時の礎になります。易きに流れず、自分に厳しく向き合って、いざという時に落ち着いて、冷静に判断し、適切な選択ができます。中学校卒業後の人生にプラスになる選択ができるように、この3日間、しっかりと準備して夏休みを迎えてほしいと思います。

